令和８年度　Ｎｏ．５　　発行：県北教育事務所　２０２６．１１．５

放課後子ども教室だより

わだ遊友クラブ

令和８年１０月１４日（水）訪問

今回は、「もとみやかるた」体験の紹介です！

わだ遊友クラブには、和田小学校の１～３年生の子どもたち22名が登録しています。場所は、白沢公民館和田分館です。この日の活動は、「もとみやかるた」体験です。

「もとみやかるた」の制作者でもある伊藤豊子さんを講師に、本宮の歴史や人物に関わるかるたの体験をしました。また、本宮に伝わる民話を聞くこともできました。和田地区の名前の由来である「わんだの清水」のお話や本宮市の偉人である久保猪之吉先生のお話を聞きました。



【本宮に関する44枚のかるたとり】



【初めのあいさつとスタッフ紹介】

子どもたちの感想

「もとみやかるた」を本気でがんばりました。目標は１番多く取ることです。楽しいので、またやりたいです。



【本宮にまつわる民話体験】

【「もとみやかるた」について】

44枚の絵札を描いたのは、彫刻家の遠藤徳さんです。本宮市ふれあい美術館の彫刻作品「み～んななかよし」も制作された方です。



【2列に向かい合って並べる場面】

協働活動スタッフの声

子どもたちから元気をもらっているので、とてもありがたいです。活動しながらいろいろなことを教えてもらっています。子どもたちの元気な声がいいですね。





【下校方法の確認】

「もとみやかるた」講師の伊藤豊子さんは、本宮市の子ども教室の立ち上げから運営まで、長い間携わってこられました。現在は、協働活動スタッフとしても活躍されています。この「もとみやかるた」をとおして、自分たちの住んでいる市の歴史や人物等をたくさん知ってほしい、また、伝えて行ってほしいと話されていました。



かっぱからもらった宝「大沢言」